


**A飼料**

# 畜産用シンバイオティクス
# 腸菌力-MC

## 主な特長・効能

1. 腸内環境改善による免疫力の向上が期待できる
   (シンバイオティクス機能)
2. 飼料効果を高め、増体及び肉質の向上が期待できる
3. 畜舎の環境・臭いの改善が期待できる

**販売元**

**西日本産業株式会社**

フリーダイヤル 0120-545-541

〒876-0045 大分県佐伯市上岡1237-1

URL https://www.nnsg-saiki.com

**販売代理店**

# 期待できる効果・効能

### ① 有害菌の増殖を抑制し、腸内フローラを正常に保つ（シンバイオティクス機能）

腸内での有害菌を抑制し、有用菌を増加させ健康な腸内フローラを回復・維持させ、病原大腸菌・クロストリジウム、サルモネラ、β - 溶結性バクテロイデスなどの増殖を抑制し、乳酸菌群のような有用菌を増殖させることが期待できます。

### ② 成長促進・消化酵素の生成とビタミン合成

アミラーゼやプロテアーゼなどの消化酵素の生成やビタミンB群、またはビタミンAの合成が確認されています。またビタミンAに注目し動物実験を行った結果、肝臓内にビタミンAが多く蓄積することが確認されています。

### ③ 免疫増強作用

腸管の免疫細胞を刺激して局所抗体(SIgAグロブリン)の生成を増加したり、マクロファージ活性を増強することが期待できます。

### ④ 悪臭の改善

家畜腸内において微生物の生成する酵素が窒素固定化。水素との結合を防止することでアンモニアの発生が減少し臭いの少ない糞が排出され、固定化された窒素は家畜エネルギー、水素は$CO_2$として放出されます。

## 給与量(目安)

**●養牛**

- 子牛　哺乳期：2～5g / 頭 / 日　、離乳期～出荷前：5～10g / 頭 / 日
- 母牛：10g / 頭 / 日
- 肥育：10g / 頭 / 日
- 搾乳牛：15～20g / 頭 / 日

**●養豚**

濃厚飼料に対し0.1～0.2%添加

**●養鶏**

家禽飼料に対し0.1～0.2%添加

【製品詳細】

| | |
|---|---|
| 製品名 | 腸菌力 - MC |
| 内容量 | 5kg / 10kg (※正味重量) |
| 使用方法 | 畜産家禽飼料に対し0.1～0.2%添加して供与 |
| 原材料名 | 乾燥オカラ、酵母、乳酸球菌、芽胞菌 |
| 菌数 | 1gあたり　5億～8億 |
| 菌種 | 乳酸球菌、枯草菌(特殊株)、酵母、補酵素 ほか多数 |
| 保存方法 | 高温多湿を避け冷暗所にて保管 |
| 保存期間 | 製造日より12ヶ月 |

**畜産の安心・安全と品質向上へ貢献いたします**